

SDGs スタートアップ研究分科会 アドバンスコース第 2 回情報交換会実施報告

2023 年 10 月 17 日

PMI 日本支部

SDGs スタートアップ研究分科会

アドバンスコース・リーダー 歳弘 浩三

去る 9 月 23 日(土曜)、SDGs スタートアップ研究分科会のアドバンスコース第 2 回情報交換会を開催しましたのでご報告いたします。

アジェンダは次の通りです。

1. 2023 年度 SDGs スタートアップ研究分科会の概要
2. アドバンスコース参加団体の情報交換
 - a. 舞鶴工業高等専門学校（舞鶴地域における小規模河川の防災対策プログラム）
 - b. 株式会社カルティブ（企業版ふるさと納税を利用した地域課題プラットフォーム）
 - c. 有限会社ウイルパワー(循環ビジネスの社会的役割の実施)
 - d. 高野山真言宗[大師教会] 和歌山教区＜三密教会＞（生活の継続が保証される町づくり）
 - e. 株式会社インフォテック・サーブ（iCD 活用で SDG s を達成）
 - f. ブルージョブズ株式会社（SDGs × 広報応援プロジェクト）
 - g. ネクシア合同会社（自然治癒力を引き出す運動を通して健康的なカラダを創造する未来社会の実現）
3. フリーディスカッション

各項目の概要をお伝えします。

1. 2023 年度 SDGs スタートアップ研究分科会の概要

・SDGs スタートアップ研究分科会

PMI 日本支部は、SDGs 達成プロジェクトを効果的に軌道に乗せ推進する方法の開発・普及を図るために、2019 年 10 月から内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に「SDGs スタートアップ研究分科会」を設けています。

本年度は、昨年度に引き続き SDGs プロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「ベーシックコース」と、実際に事業として行っている SDGs プロジェクトを支援する「アドバンスコース」の二本立てで実施しています。

去る 9 月 2 日(土)、SDGs スタートアップ研究分科会の 2023 年度秋季 SDGs スタートアップセミナーを開催しましたのでご報告いたします。

詳細は次のウェブサイトをご覧ください。

[2023 年度秋季 SDGs スタートアップセミナー実施報告 - SDGs スタートアップ研究会 \(pmi-japan.org\)](https://pmi-japan.org/)

「ベーシックコース」については本年も 10 月開始として、すでに参加団体の募集を開始しています。詳細は次のウェブサイトをご覧ください。

[2023 年度「SDGs スタートアップ研究分科会-ベーシックコース」参加団体募集のご案内 - SDGs スタートアップ研究会 \(pmi-japan.org\)](https://pmi-japan.org/)

[2023 年度「SDGs スタートアップ研究分科会-ベーシックコース」参加団体募集 - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=...)

アドバンスコースの開催

本年度のアドバンスコースは、原則として 2019 年度、2020 年度、2021 年度、2022 年度のベーシックコースに参加された団体で実際に実行されている SDG プロジェクトを対象としています。すでに SDGs 事業を開始していて、基本的なプロジェクトマネジメントの知識をお持ちの場合は、途中参加もご相談に応じます。

図 1 にアドバンスコースの位置づけ、スケジュールを示します。

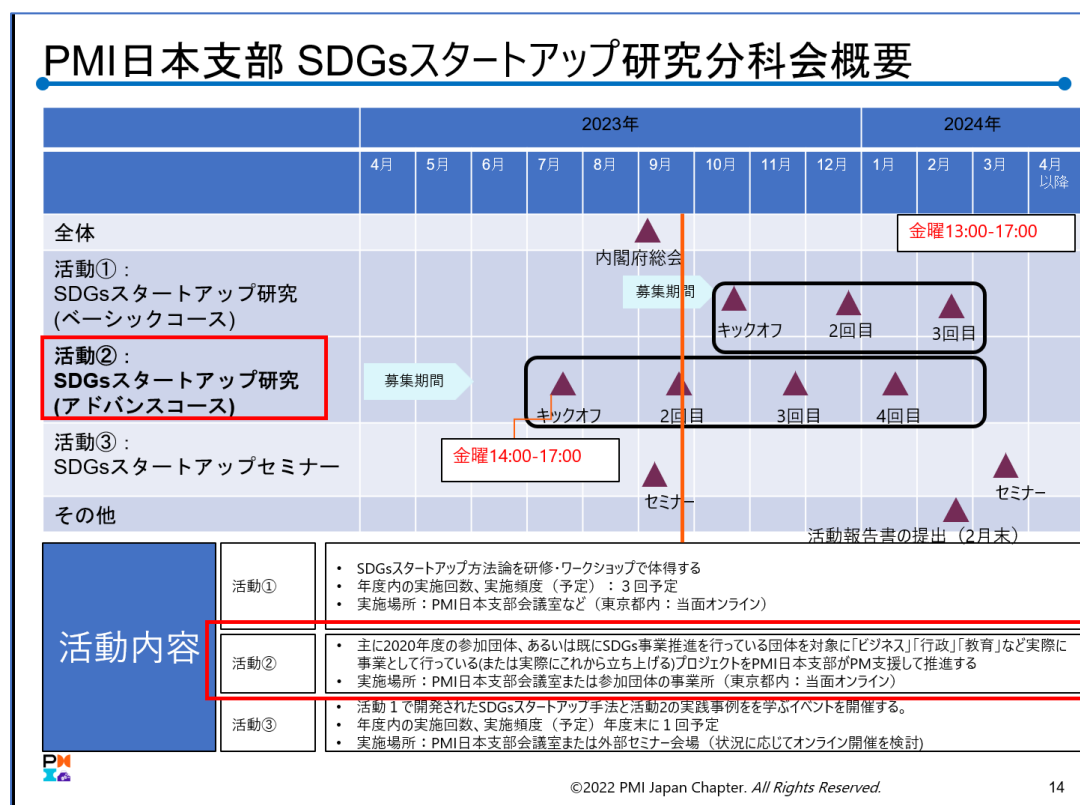


図 1 アドバンスコースのスケジュール、活動内容

2. アドバンスコース参加団体の情報交換

現在アドバンスコースに参加されている 7 団体の SDGs 取組み事例を紹介していただきました。

a. 舞鶴工業高等専門学校（舞鶴地域における小規模河川の防災対策プログラム）

（報告：舞鶴工業高等専門学校 内海康雄氏）

- 舞鶴地域における小規模河川の防災対策プログラムで、8月15日に近畿・舞鶴地域にも影響を与え舞鶴市内でも洪水をもたらした台風7号に対して、「舞鶴市総合モニタリングシステム」による中小河川の水位計、カメラの画像によるリアルタイム情報と西舞鶴地区における洪水被害の状況の分析結果の報告がされました。

「舞鶴市総合モニタリングシステム」による中小河川の水位計からの10分単位リアルタイムデータで水位計が設置された中小河川の水位上昇が即時に把握でき、またカメラのリアルタイム画像を確認することができ、夜間の現場に行くことなく危険な行動を避けて状況を把握することができるようになった。

「舞鶴市総合モニタリングシステム」による避難情報で警戒レベル3「高齢者等避難」指示が8月15日の午前8時ころ（水位情報と予測を基に）発令されている。

西舞鶴地区で発生した氾濫被害についての分析

- 1) 舞鶴市全域で、警戒情報の発出、住民避難などは機能した
- 2) 夜間でも周辺地区の水位について情報を得ていた
- 3) 西舞鶴地区での水位上昇が早く、新設したポンプの稼働が間に合わなかった（未確認）
- 4) 由良川右岸の2つの小規模河川での被害が大きい。
- 5) 西舞鶴の西側～由良川右岸側の地域で、降水量が多かった可能性がある
- 6) 舞鶴市からの災害ボランティアの募集が9月まで続いている

これらの分析を基に今後の活動案として、

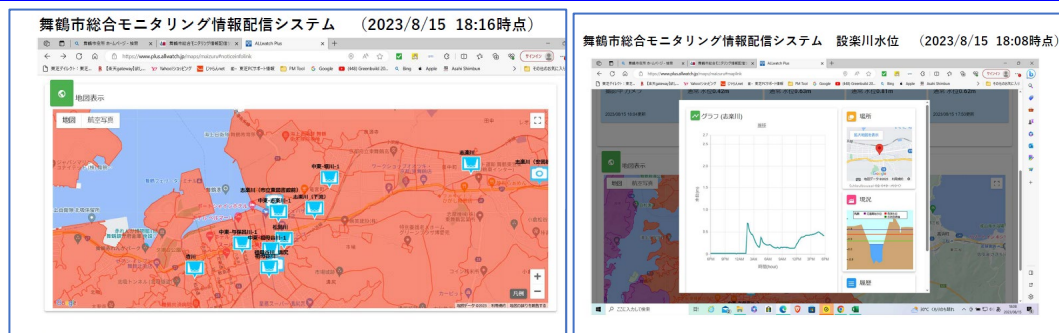
○データの活用方法の検討

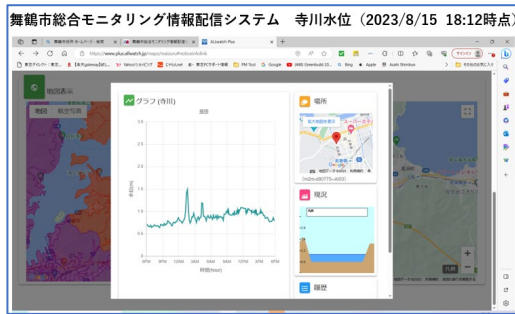
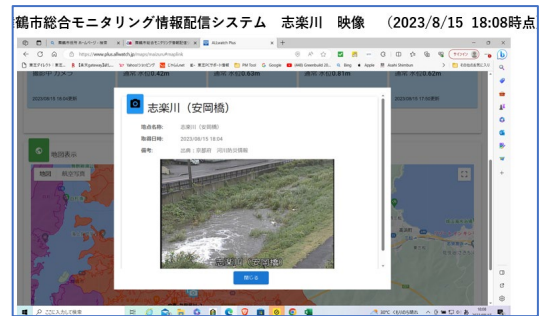
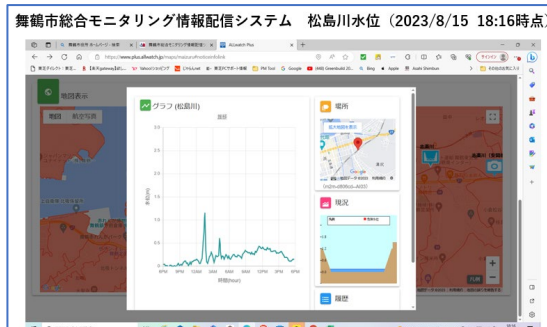
例. 警告の出し方、水位予測手法の開発

○市民を含めたHPのデータへアクセスする意識の向上を推進

参考：

[舞鶴市総合モニタリング情報配信システム | 舞鶴市 公式ホームページ \(city.maizuru.kyoto.jp\)](https://city.maizuru.kyoto.jp/)





8/15の台風7号への対応について

台風7号への対応について

まいづるメール配信サービス <maizuru-joho@sg-m.jp>

【警戒レベル3】高齢者等避難

まいづるメール配信サービス <maizuru-joho@sg-m.jp>

台風7号の接近に伴い、舞鶴市に大雨、洪水、暴風警報が発表されています。今後、さらに風雨が強まる恐れがあるため、大浦地域、東舞鶴地域、中舞鶴地域に【警戒レベル3】高齢者等避難を発令しました。自主避難所が所に加え、本日8時に避難所23か所を開設しました。高齢の方など、避難に時間がかかる方は、安全な場所に、避難を開始してください。

【道路規制情報】舞鶴若狭道通行止のお知らせ

まいづるメール配信サービス <maizuru-joho@sg-m.jp>

降雨の影響により、舞鶴若狭道の下区間が通行止めとなっています。

【通行止め区間】
綾部IC～舞鶴東IC(上下線)
<https://www.w-nexco.jp/>

道路規制は状況により変わりますので、ホームページ等で規制状況を確認してください。

舞鶴災害ボランティアセンターの開設について

まいづるメール配信サービス <maizuru-joho@sg-m.jp>

舞鶴災害ボランティアセンターが、開設されています。

◆開設期間
8月17日(木)～22日(火)8時30分～18時30分(予定)
◆定員
8月18日(土)～22日(火)8時30分～18時30分
◆主な活動内容
荒出しや家具などの移動、室内の清掃等

ボランティアの依頼方法、ボランティアへの参加方法など詳しくは、舞鶴市社会福祉協議会のホームページを確認してください。
http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru/post_326.html

被災地域では、多くの人の支援が必要とされています。ボランティアへの協力をよろしくお願いいたします。

b. 株式会社カルティブ（企業版ふるさと納税を活用した地域課題解決プラットフォーム[river]） （報告：株式会社カルティブ 企業版ふるさと納税コンサルタント 小坪拓也氏）

・[river（リバー）]という地域課題解決プラットフォームで、「企業版ふるさと納税の活用を目指す自治体と企業が、制度を活用するためのサービス」を提供しています。

- 1)セミナー案内として、（1）寄付実績を読み解く説明会、（2）企業版ふるさと納税の最新市場情報を公開するアンケート報告会に関して説明されました。（1）寄付実績を読み解く説明会は企業版ふるさと納税 令和4年度の寄付実績を読み解くセミナーとして、公開データを徹底的にグラフ化・視覚化して紹介、TOP10自治体の個別事例を深堀りして紹介されています。

2) 省庁連携施策として 2023 年 7 月～9 月まで、経済産業省、農林水産省、環境省など 11 の省庁に訪問して情報交換を行いました。また、省庁連携セミナーとして、農林水産省、環境省、内閣府などとの連携セミナーを紹介されました。

これまでの実績として

- ・ サービスリリース（2020 年 4 月）から 3.5 年
- ・ 累計寄付：2.0 億円/267 件
- ・ 毎月数十社の企業がセミナーに参加する状況

参考：

[企業版ふるさと納税 令和 4 年度寄付実績を解説 | river | 地域課題を解決する企業版ふるさと納税のポータルサイト \(cpriver.jp\)](https://cpriver.jp/)



c. 有限会社ウイルパワー(循環ビジネスの社会的役割の実施)

(報告：有限会社ウイルパワー 代表取締役 江川 健次郎氏)

- ・ プロジェクトテーマは、循環ビジネスの社会的役割の実施で、
- ・ 有限会社ウイルパワーはリユースショップの運営と中古品・不要品の輸出事業を行っており、リユースショップ「リユースマン」を岡山県倉敷市と香川県丸亀市で運営、また、中古品・不要品を開発途上国へ輸出しています。
- ・ SDGs テーマは「資源循環による元気で優しいまちづくり」で、9/17（日）倉敷市の環境イベント「環境フェア」に参加し、倉敷市とリユース活動の実績をつくるための連携イベントとして参加しました。アムダマインズ 連携協定で不要品で世界を元気にする活動、ハローズ（地元のスーパー）から、消費期限の短い食材を生活困窮者につなぐ活動の支援が行われています。
- ・ 9/13（水）ブックオフとの連携事業を開始しました。（中四国地方）
- ・ PMI 日本支部 SDGs スタートアップ研究分科会の稲葉氏から SDGs 事業活動インタビューがあり、ウイルパワーの SDGs 事業活動の倉敷での対面取材で、倉敷市役所 SDGs 担当一企画経営室、一般廃棄物課、市議会議員との議員会館 会議室での対談取材を受けました。倉敷市役所とは一般廃棄物運搬の認可後の情報交換等により良好な関係です。

参考：

倉敷市 環境フェア 9/17



d. 高野山真言宗[大師教会] 和歌山教区<三密教会>（生活の継続が保証される町づくり）

（報告：高野山真言宗「大師教会」 和歌山教区<三密教会> 浅田慈照氏）

三密教会とは：三密教会正式名称：高野山真言宗大師教会和歌山教区三密教会

・2023 年度<三密教会>プロジェクトとしては、

三密教会会員それぞれの<場>でプロジェクトを展開〔駆け込み寺〕と<人>でプロジェクトを展開〔寺子屋〕：半径 10M 以内で個人が心地よく、住み続けられる地域づくり。

〔駆け込み寺〕では【場所】を主軸に、**情報**を提供、ココロ（心：感情）の育成

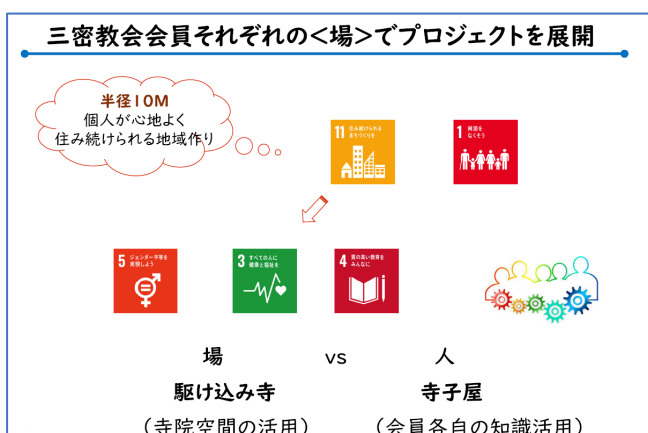
〔寺子屋〕では【人】を軸足に、**教育**を提供、ココロ（意：脳）の育成

大楽庵の活動 人材（菩薩・調御師・スチュワード）育成

※リークキャンバスを書くと先が見えてくる、リスクの管理もできてくる

◆葬儀に資格は不要。資格がなくても勝手に考えて、勝手にやってもいい。

要は、僧侶という職業はクライアントニーズのみで成り立っている。



e. 株式会社インフォテック・サーブ （代表：橋爪修氏）

(報告：株式会社インフォテック・サーブ 志村氏)

テーマは：iCD 活用で SDGs を達成 主要なゴール 8: 働きがいも経済成長も

1. ・新しい価値提案（ユーザー体験）＝What を意識した表現として、社員が失敗を隠さずに報告する、社員が挑戦する、社員は何をすれば評価されるのかわかるの 3 点が選ばれ、これを基にリーンキャンバスを作成し、その後、ロジックモデルまで作成した。
2. ロジックモデルでは、独自の価値提案やソリューションに、アウトカム、アウトプット表現の混在を修正・再整理した。
3. 短期・中期アウトカム 欄から「アウトプット」候補を討議・修正追記
4. 「独自の価値提案」「ソリューション＝活動」についても着手。残作業は次回への宿題とする。

注：iCD とは：IT を利活用するビジネスに求められる業務（タスク）と、それを支える IT 人材の能力や素養（スキル）を体系化したもの

f. ブルージョブズ株式会社 （代表：橋本滋氏）

(報告：ブルージョブズ株式会社 代表：橋本滋氏)

テーマは：SDGs × 広報応援プロジェクト

事業内容：WEB 製作、メディア製作、SDGs 事業の 3 本柱としています。

SDGs に取り組む中小企業の広報応援隊を目指しています。

- ・新規事業として、SDGs 経営 x 事業再構築サポートコンサルティングとして、SDGs 経営伴走支援の中に新規事業の立ち上げや、構築支援サービスを主体に進めていきたい。
- ・リーンキャンバスのターゲット、課題、アーリーアダプター、自社の強みを生かしたビジネスモデルの検討を開始した。

g. ネクシア合同会社 （代表：武藤淳子氏）

(報告：ネクシア合同会社 代表：武藤淳子氏)

テーマは；自然治癒力を引き出す運動を通して健康な体を創造する未来社会の実現

- ・ネクシア合同会社の企業理念・ミッション

ネクシア合同会社は「自然治癒力を引き出す運動を通して健康的なカラダを創造する」ことで社会に貢献します。

- ・ネクシア合同会社のビジョン

自分のカラダを最優先に大切に作る行動として健康にとって必要な運動の価値を普及します。

活動目標：

- ・がんサバイバーが治療の選択肢として運動療法に取り組むことで、がんやがん治療による体力低下や不調を改善する。
治療終了後、がんと共に生きながら自分らしく生きるために社会復帰、職場復帰を応援する
- ・がんの予防・改善としての運動効果を認知する活動とがん専門運動指導士としてビジネス導線を作り収益化したい。

- ・課題はターゲットの設定で、アドバンスコース参加団体、メンバーからのアドバイスをいただきたいとのことで、5名から健康のための運動、薬から運動か、運動を楽しむための目的、啓蒙活動をするための視点、アプローチに関する意見を聞きました。

4. フリーディスカッション

アジャイルコーヒーでその場の参加者でアジェンダを決めるリーンコーヒー形式のフリーディスカッションを行い、参加団体からのテーマを基に示唆に富んだディスカッションをおこないました。 いろいろな話題や意見が出て有益な時間でした。

The screenshot shows the Agile Coffee interface for a discussion session titled "SDGs分科会アドバンスコース2023年9月". The board is organized into three columns: "Discussion Items", "Current Being Discussed", and "Done Discussing".

Discussion Items	Current Being Discussed	Done Discussing
10mの周囲とどうつながるか 👍 2	皆さんの活動を継続するための資金繰りはどうするか 👍 3	老後を健康にどう暮らすか 👍 9
企業版ふるさと納税についてご関心ありますか? 👍 0		80歳の時どんな自分でいたいですか? 👍 4
DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するための良いソリューションは? 👍 1		
世の中の不安を解消するにはどうすれば良いか 👍 2		
アドバンスコースで相談したいことはあるか? 👍 0		

本件についてご関心、ご要望がありましたら下記にお問合せください。

PMI 日本支部 SDGs 担当(sdgs@pmi-japan.net)